相模原市里親養育包括支援事業／フォスタリング機関について

この度、社会福祉法人中心会が相模原市里親養育包括支援事業／フォスタリング機関を相模原市より受託し、**10月1日(土)**より事業を開始する運びとなりました。

【フォスタリング機関とは・・】

本来、フォスター(英語:Foster)は、「育てる、養育する」を意味する単語です。ここから転じて、フォスタリング機関とは、「里親支援を行う機関」を意味します。

【里親養育包括支援事業の目的】

里親養育に関する業務を包括的に実施することで、切れ目のない質の高い支援を確保し、相模原市の社会的養育を必要とする子どもと里親が、良好な家庭的環境下において健やかに生活を送ることが出来ることを目指します。

1. 名称:「相模原市里親養育包括支援センター」
(愛称:ふうせんかずら)
2. 受託期間:2022年10月1日(土)～2025年3月31日(金)
3. 実施場所:2022年10月1日(土)～2023年3月31日(金)は
相模原南児童ホームを拠点に活動し、2023年4月以降は相模原市内に拠点を構え事業を行ないます。

【ふうせんかずら】
花ことば:「あなたと共に」と「あなたと飛び立ちたい」

種一粒一粒にハート型の模様ができるのです!
なんともかわいらしい。

さがみの里親会シンボルマークのモチーフとして描かれています

さがみの里親会
あなたとともに

里親制度啓発

年間を通じ相模原市民向けに制度啓発を行っています。

①里親制度説明会:2023年1月22日(日)開催
●制度について知るための入口です。分かりやすい説明があります。
場所:ユニコムプラザさがみはら　時間:14時から16時

②里親体験談:2023年3月4日(土)開催
●現在活動する里親さんから話が聞けます。
場所:相模原市児童相談所　時間:10時から12時

※①②とも事前の申し込みが必要です。
下記QRコードを読み取り詳細をご覧ください。

①里親制度説明会　②里親体験談会

苦情報告

9月19日(月)に以下の内容の苦情を頂きました。
<申し立て内容>
①夜間、職員が自家用車で帰る際、車のドアをしめる音が煩い。(強くしめている)
②駐車場の排水溝の蓋をタイヤで踏むと「ガタン」と大きな音が鳴り煩い。

①職員全体にミーティングで周知し、指導しました。
②排水溝の蓋はボトルが緩んでいる箇所が数カ所、ボトル自体がなくなっている箇所が数カ所発見されましたので業者による修繕を行いました。
<申し立て人に対して事業所がおこなったこと>
申し立て人に対して上記対策について報告し、承諾を得ました。

ご寄付お礼 【2022年7月～9月】

株式会社セクメット 瀬戸誠 様／フードコミュニティ 代表 中臺 ひろし 様／サンラッキー相模原店 様／日広建設株式会社 様／鈴木 由郎 様／ニラク 海老名本郷店 様／長谷川 貴美子 様／三橋 義昭 様／上田 恵利佳 様／南区更生保護女性会 様／Medical Rainbow 様／株式会社三光ホーム 様／山本 隆 様／他匿名4名様

熱いご支援、ありがとうございます。

会議室の貸出について

会議室等のお部屋の貸し出し、親子サロン、学習支援におきまして、現在新型コロナ感染症防止の関係で、ご利用を控えさせていただいております。再開にあたっては、ホームページ上にてお知らせ致します。
ご理解・ご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。

相模原南児童ホーム通信

発行日:2022(令和4)年12月10日
発　行:社会福祉法人　中心会　相模原南児童ホーム
〒252-0326 相模原市南区新戸905-1
TEL:046-251-5590
URL http://sagamihara-minami.chusinkai.net/
Email:sagamihara-minami@chusinkai.jp
発行責任者:曽我幸央

「こどもたちのマラソン大会」

相模原南児童ホーム　所長　曽我 幸央

全国の国公私立小中学校で2021年度に30日以上欠席した不登校の児童生徒が過去最多の約24万件以上になり、また、学校が認知したいじめの件数も過去最多の約61万件となったというショッキングな報道がありました。コロナ禍で対人接触を控える必要があったことが背景にあることが大きな要因があると分析がされていました。

コロナ禍において、様々な場所でその歪みが出ていて、施設に入所してくるこどもたちも、この歪みとは無関係ではないことを実感しています。

先日、ホーム内でマラソン大会を行ないました。本来ならば、児童福祉施設駅伝大会に参加するために子どもたちも毎日、頑張って練習を積んできましたが、直前にホーム内で陽性児童が出てしまったため、大会を辞退し、その代替えとしてホーム内でマラソン大会を企画しました。

小学生から高校生まで、必死になって最後まで諦めずに頑張って走る姿に感銘を受けると共に、子どもたちと一緒に汗を流すことで得られる爽快感や達成感を私自身も久しぶりに体験しました。子どもたちは、大会に参加できなかった悔しさをバネに、「1月のマラソン大会は頑張る!」と次の目標を見据えていたのが何よりも嬉しく感じました。

栄養管理係から子ども達にアンケートを実施しました

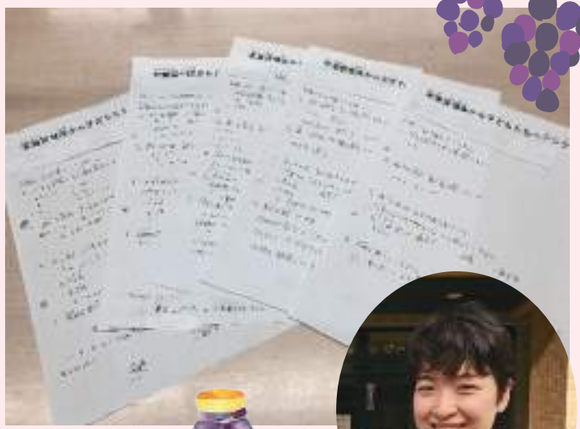
栄養士として入社し、7ヶ月が経ちました。入社当時は黙々と献立を作成していましたが、職員さんが子どもたちとの交流の場を作っていただき、お弁当のおかずは何が食べたいか、どんな食べ物が好きかを聞くことが出来ました。その事をキッカケに子どもの名前と顔が一致し、そして私を知ってもらえるいい機会となりました。

また、アンケートを実施したり、職員さんや子どもをつかまえて、度々嗜好調査を実施しました。

今では献立を作る際、この調理方法だと食べるの嫌がるかな?この食材だと喜んで食べてくれるかな?この栄養素は摂ってもらいたいからこんな風に伝えてみようかな?と、子ども達の顔を浮かべながら献立を作っています。

私の名前を覚えてくれる子どもも少しずつ増え、「島岡さ～ん!今度○○食べた～い!」っと、声を掛けてくれるのがとても嬉しいです。

アンケートの回答の中にはジャム作りや味噌作り、梅干し作りをしてみたいと意見があったので、ジャム作りは今年度に。味噌や梅干し作りは来年度に是非!作りたいと思っています。(栄養管理係　島岡)



栄養管理係　植松

活動報告

10月の花火大会

例年は9月に行っている乳児課の花火ですが、今年度は感染症の拡大等により、10月の開催となりました。例年ですと暑い時期に行っていましたが、今年は少し肌寒くなり、やや時期外れの花火となりました。しかし、子どもたちは沢山の花火にびっくりしつつも興奮気味に花火の光に見入っていました。今年は噴出花火を多くそろえた事で花火を持つのが難しい月齢の子でも楽しむことが出来ました。(量と光の派手さにびっくりもしていましたが。)噴出の花火を楽しみつつ手に持てる子は職員と一緒に手持ちの花火もやりました。中には嬉しそうに両手に花火を持って楽しんでいる子もいました。無事開催出来てよかったです。少しずつ冬の訪れを感じさせる気候になってきましたが、色々な事が楽しめるように日々の活動を考えていきたいですね。
(乳児課　金井)

お弁当を持ってピクニック

秋晴れが気持ちのいい日に、乳児課と日中保育合同で公園にお弁当を持ってピクニックに行ってきました!最近は、コロナウイルス第8派が少しずつ近づいてきている関係で、なかなか行けていなかったですが、細心の注意を払って近くの公園へ!車に乗り込み、自分のリュックを持って、さあ出発!

久々の公園外出にみんな大喜びで、長い長いローラー滑り台やホームにはない遊具で時間いっぱいまで楽しく遊んでいました。持ってきたシャボン玉を出して、使い方を真剣に聞いている様子は可愛らしく、その後は飽きるまでみんなシャボン玉を量産していました♪

お腹が空くとレジャーシートを広げて持ってきたお弁当をみんなで食べました!お外でみんなで食べるとより美味しいね!なかなか外出ができないですが、とても楽しい公園外出になりました!また行こうね♪
(乳児課　中尾)

みなみっこ祭りを開催

現在もなお猛威を振るっているコロナウイルスですが、それらに負けないように元気に過ごすことが出来ています。例えば、幼児ユニットでは、マスクをつけるなどして、感染対策を行い、河原にサイクリングに出かけ、ベンチでおやつを食べたり、昆虫採集を行いました。コロナウイルスの影響でユニットから出ることが出来ない事もあるため、その際には片栗粉粘土やスライムづくり、ベランダでシャボン玉などを行っています。

外出制限などが掛かる中で公園に行く事もままならない状態ではありますが、子どもたちが楽しく元気に過ごすことが出来るように様々な工夫を行っています。

10月にはみなみっこ祭りを実施することが出来ました。大人数で一堂に会することが出来ないため、ユニットごとにバザーを行い、子ども達もそれぞれ思い思いの品を購入することが出来、とても満足そうでした。また、縁日遊びとして、プラスチックの金魚すくいやお魚釣りを行いました。
(児童課　横田)

南児童ホームだけでの「特別な駅伝大会」を開催

11月12日にこどもの国にて開催される児童養護施設の駅伝大会に相模原南児童ホームから男子の部6名、女子の部5名の計2チームでエントリーしていました。チームを作成するにあたり女子チームの参加児童が定員を超えたため、タイムトライアルを実施し選抜メンバーを決定し、それに選ばれた児童たちはホームを代表して参加する強い気持ちを持ちながら毎日の連習に励んでしました。

しかし、コロナウイルスの影響もあり急遽参加する事ができなくなってしまいました。そのため、今まで練習を頑張ってきた子ども達に「違う形で何かできるのでは?」と思いついたのがホームの目の前にある河原を利用し、南児童ホームだけでの「特別な駅伝大会」を開催する判断をしました。本番同様2.4キロメートルほどの距離を数名の職員に見守られ、応援されながら走りきり素晴らしい時間となりました。参加した児童には南児童ホーム限定の特別な賞状を職員より一人ひとり手渡しすると喜んでいる姿が見られました。(児童課　関)

職員だより

コロナ禍の影響下にあっても、職員が楽しく過ごす工夫を考えながら、子ども達と共に過ごしている様子について

【児童課】

現在コロナ禍によりユニット隔離や居室隔離になる事が多くあります。隔離での対応は各自の居室で過ごし普段は時間が決まっているのですが、隔離の際は特別にDVDやパソコン等を時間を決めずに見せています。ストレスが溜まってしまうので子どもにとって少しでも楽しく過ごせるようその都度対応を変えています。その他にもリビングに出て外の景色を眺め気分転換をするなどしています。

また10月にはみなみっこ祭りを行うことが出来ました。ユニットごとにバザーで各々好きな物を買う事が出来ました。さらに今年も里親会の皆様方より子ども達にお菓子と手作りポーチを頂きました!

誠に有難うございます。子ども達もとても喜んでおりました。以前のように児童課と乳児課全ユニットで集まる事は出来なかったのですが、久しぶりの行事に子ども達はとても喜んでいました。

コロナウイルスにより色々と制限がある中ではありますが子ども達が楽しめる工夫を色々考えながらこれからも子ども達と過ごしていきたいです。(児童課　中川)

なんと、ファスナー付き!!
お菓子の袋が、ステキなポーチに大変身!

【乳児課】

コロナウイルス第8派が近づいている中でも、何か子どもたちが安全に楽しめることはないか、と毎日考えて過ごしています。そんな中で、最近は施設のそばにある河原や遊歩道がすっかり秋めいてきれいな紅葉が見られます。

お天気も良く秋晴れが続く日々で、月齢の高い子も低い子も、みんなを連れて秋探しのお散歩に出かけています。子どもたちは赤く色づいた大きな紅葉の木を見上げて、落ちてくる葉をキャッチしようとジャンプ!!毎日元気いっぱいに遊んでいます♪

おやつと水筒を持ってお外でピクニック気分を楽しむ日もあれば、自分たちの顔と同じくらい大きな葉を探して持って帰ってくることもあります!子どもたちが楽しそうに探す様子がとてもかわいらしいです。

今後も適度に外遊びを取り入れて、室内遊びばかりにならないよう、子どもも職員もコロナウイルスに打ち勝つ体力をつけていこうね!　(乳児課　中尾)

子ども達と一緒に作ってみませんか？

管理栄養士さんのレシピのご紹介

桜エビのお好み焼き

<おすすめポイント>この一品料理のポイントは子どもたちが大好きなお好み焼きに牛乳の20倍のカルシウムが含まれる桜エビを使用するところです。成長期の子どもに特に大事なカルシウム・骨を丈夫にする料理をぜひ作ってみませんか。

<作り方>

①キャベツを洗って粗みじん切りにし、大きめのボウルに入れる。そこに桜エビ、ホールコーンを入れて全体によく混ぜておく。
②①に卵・お好み焼き粉・水(分量外)を入れて全体にさっくり混ぜる。
③熱したフライパンに油をひき、②を流し入れたらふたをする。弱火でお好み焼きの生地の周りが少し乾いたら豚肉をのせ、ひっくり返す。
④再度ふたをして、両面がきつね色になるまで焼く。皿に盛り付け、青のり、紅ショウガ、鰹節、お好みでソースやマヨネーズをかけて完成です。

●材料(一人当たり)

- ・キャベツ……100g
- ・豚小間……30g
- ・桜エビ……5g
- ・ホールコーン……10g
- ・お好み焼き粉……60g
- ・卵……30g
- ・油……1.5g
- ・青のり……0.5g
- ・紅ショウガ……3g
- ・鰹節……1g

<栄養価>

エネルギー	420Kcal
たんぱく質	19g
脂質	14.5g
カルシウム	139mg
食塩	3.1g

<おすすめの一品を活かすための献立例>

- ・桜エビのお好み焼き
- ・わかめスープ
- ・鮭とじゃがいものソテー
- ・ジョア(ブルーベリー)